

登録コード	SSG03607	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（化学ユニット）					担当教員	金 継業
英文授業名	Special Research (Chemistry Unit)					副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンベンション	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP1】 人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観ができるようになる。	
	2 4 SSカリ・理学						
	～24SS 【DP2】 環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって, 環境調和社会、知識基盤社会を支える高い知的素養ができるようになる。	
	～24SS 【DP3】 それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって、分析化学の研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力ができるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】 創造性豊かな優れた研究・開発能力				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって、創造性豊かな優れた研究・開発能力ができるようになる。	
	【DP5】 専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって、専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力を養う。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP2】 それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって、環境調和社会、知識基盤社会を支える高い知的素養ができるようになる。	
	【DP3】 さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	修士論文作成に必要なより高度な分析化学の理論ならびに実験的手法を習得することによって、環境調和社会、知識基盤社会を支える高い知的素養ができるようになる。	
(2)授業の概要	指導教員の指導の下で学位論文のテーマに関する勉学と研究を行う。						
(3)授業のキーワード	実務経験のある教員による授業科目、電気分析化学、電気化学発光、超音波化学、顕微分光分析、量子ドット						
(4)授業計画	年度始めに選択した学位論文のテーマに関する勉学と研究を行う。そして、週1回のペースで研究室リサーチセミナーを開催し、進捗状況の確認とともに、研究の仮説、方法と問題点などを議論する。研究成果を年度末に物質基礎科学専攻の化学ユニットで行う研究発表会で発表するとともに、学位論文としてまとめる。						
(5)成績評価の方法	日頃研究への取り組み状況や態度、学会発表の内容、修士論文の質と最終試験（修士論文発表会）の内容に基づいて総合的に評価する。						
(6)成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としている。 秀： 特別研究の達成目標の水準から見て卓越している 優： 特別研究の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 特別研究の達成目標の水準よりやや上にある 可： 特別研究の達成目標の水準にある						
(7)事前事後学習の内容	自分の研究テーマがどのような学術的文脈に位置づけられるかを理解するため、関連する先行研究を把握する必要がある、時間をかけて丁寧に取り組むことをお勧めする。						
(8)履修上の注意	1) 研究室日記を書くこと。 2) 指導教員との連絡を密に保ち、勉学と研究の進行状況を随時報告すること。 3) 在籍2年間で、最低1回以上の学会発表を行うこと。						
(9)質問,相談への対応	指導教員が随時対応する。						
【教科書】	特に指定しないが、必要な文献をその都度で提供する。						
【参考書】	研究テーマに関連する文献をその都度で提供する。						